

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇「聴き合い・高め合い」が生まれる授業の展開をテーマとし、自ら学習課題に関わったり、友達がどのように考えているのか興味関心を高めたりしながら、共に学ぶ中で学習課題を追究する姿が見られた。</p> <p>◇共通指標より、令和5年度まで低下傾向だった項目「意見の違う人ともよく話している」「学習で困っている友達に声を掛けたり、一緒に考えたりするようにしている」「振り返りを通して自分の伸びや成長を感じることがある」において令和7年度はポイントが高くなった。</p>
	<p>◇共通指標より、「自分が必要とされていると感じる」という項目において、肯定的な回答は低下傾向が続いている。(R7年度はA評価が36.4%) 友達と学ぶよさや自分の成長を実感することが増えてきたが、一方で自己有用感や人の役に立つよさの実感に繋がっていないという実態も捉えることができる。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇人との繋がりの中で自己有用感や自己肯定感を高めていくことに課題がある。日々の授業や行事でも、仲間と共によりよい目標を設定し、見通しをもって活動する中で、互いを高め合えるような環境を創る。また、キャリアパスポートの取組などを生かし、結果だけにとらわれることなく、挑戦する姿勢や意欲を伸ばしていくことができるように個々への関わりを大切にしていくことが必要である。</p>	
<p>「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 つながり軸に聴き合い・高め合う。そして自分のよさを知る。</p>	
取組	<p>課題探究的な学習の推進 に向けて</p> <p>◇研究主題「聴き合い 高め合う子どもの育成」の実現 →AARを意識した課題探究型授業 →子どもの思考がつながる単元構成 →自分への自信につなげる、子ども一人一人が学びの主演になる授業の創造（子どもたち同士が共に支え合い、高め合う授業、教師のきめ細やかな見取り、価値付け） →子ども同士のつながりを大切に交流</p>
	<p>自治的な活動の充実 に向けて</p> <p>◇「子どもの声を聴く」話し合い活動の充実 →学級の様々な課題や改善点を議題にした学級会 →委員会活動やクラブ活動において子どもたち自身が見通しをもって計画し、活動に取り組む ◇ゆう班活動の充実 →上級生が企画・運営を行う中で下級生が感謝の気持ちを持ち、異学年とのつながりを深める</p>
	<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>◇聴き合い・高め合う授業の実現に向けて、タブレットを活用した協働探究が行える環境を整備する。また、児童が自分で使いこなせるように、各ツールの利点や注意点を日々指導していく。</p>

<本プログラムの実行に向けて>

<p><b>新年度</b></p> <p>◇本プログラムの共有 ・職員集会（5月） ・研究全体会（5月） ・パートナー校間研修</p>	<p><b>【一人一人の教職員】</b></p> <p>◇日常の授業・教育活動 ◇各自の研修…札教研事業・年次研修等</p>	<p><b>【学校全体】</b></p> <p>◇実践交流・校内研修 ◇教育実践発表会 ◇子どもの育ちの共有 ・学年研修、パートナー校</p>	<p><b>次年度△</b></p> <p>◇学校評価 ◇成果と課題を共有 ・研究全体会（3月） ◇令和9年度の新研究へ</p>
---	--	---	--